

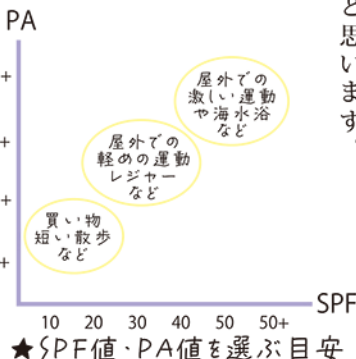
・PA

PAはUVAをどれくらい防止できるかの目安です。

- PA+ ⇒効果がある
- PA++ ⇒かなり効果がある
- PA+++ ⇒非常に効果がある
- PA++++ ⇒極めて効果が高い

右図のように、4段階で表されます。

UVA、UVB両方の紫外線を防ぐものを、目的に合わせて選んでいただきたいと思えます。



適切な使用方法

効果時間の短い日焼け止めや、効果時間が長くても汗や水に濡れたりして日焼け止めが落ちてしまう場合、適時塗り直す必要があります。

ウォータープルーフタイプの日焼け止めは、水や汗で落ちにくいのですが、落とすときには石鹸や洗顔料ですとす必要があり落とすとはいえ、ごし洗うと肌は傷つきますので、よく泡立たたふんわりやさしい泡で洗い流してください。

ウォータープルーフタイプでなければ、汗や入浴などで自然に落ちてしまうので、そう神経質に洗う必要はありません。



肌に優しい日焼け止めの

一般的な日焼け止めには、紫外線を防ぐための成分として

「紫外線吸収剤」「紫外線散乱剤」

という成分がよく配合されているのですが、まれに「紫外線吸収剤」で刺激やかぶれをおこすことがあります。

肌が弱い方には「紫外線吸収剤」が配合されていない、「紫外線吸収剤無配合」または「ノンケミカル」タイプの日焼け止めをお勧めします。

当院でも、肌にやさしいタイプの日焼け止めクリームをあつかっています。保険は



季節を問わず

きかず自費になります。ご希望の方は皮膚科外来までお越しください。

秋になると日差しは和らぎますが、紫外線がなくなるわけはありません。外へ出掛ける機会も増えると思いますし、紫外線対策も緩みがちです。

季節を問わず、お出掛けの際は、紫外線対策をしつかりしてお出掛けください。

皮膚科診療時間

	月	火	水	木	金	土
8:30~11:30	○	○	○	○	○	○
13:30~14:30	○	△	△	△	△	△
16:00~17:00 (予約のみ)	○	△	△	△	△	△

※受付は30分前 ※土曜は第一第三のみ

診察予約・お問合せ 平日PM2:00~5:00
Tel. 0265-35-7511 外来看護師まで